



かしこく・やさしく・たくましく

西中野

平成 30 年度 7 月(482)号
平成 30 年 7 月 2 日
中野区立西中野小学校
校長 岡本 賢二

見守りで育つ西中野の子 校長 岡本 賢二



西中野小学校の子どもたちは、多くの保護者・地域の皆様に支えられて日々、安全・安心に学校生活を送ることができます。

【登校時の安全パトロール】では、白鷺三丁目町会の浦野雅晴さん（写真一番上）や、ゴーヤの鈴木孝雄さんが、雨の日も風の日も、最後の一人が校門をくぐるまで毎日見守ってくださいます。おかげで登校時の事故ゼロ、感謝の気持ちでいっぱいです。

【放課後ぜんりょく塾】は、放課後に行っている補習教室です。次世代育成委員であり学校評議員でもある斉藤百合さん（写真上から2番目）と、元PTA会長の種市光江さんが、地域の方々に働きかけてくださったおかげで学習ボランティアに現在12名の方が登録してくださっています。安全見守りも行っている岡本紀世さん（写真上から3番目）など、ボランティアの皆さんが日替わりで指導にあたってくださいのおかげで、マンツーマンの完全個別指導が実現し、子どもたちの学習の定着度が目に見えて伸びています。本当にありがたいことです。

【放課後学習室】は、放課後の自主学習室です。安田秀美さん（写真一番下）が代表として立ち上げてくださった「にしなかの全力サポーター」が運営してくださっていて、宿題をすませてから帰る子や漢字検定の練習、将棋などにチャレンジする子どもたちで活気にあふれています。一人ひとりを大切にする西中野小は、放課後の居場所づくりにもしっかりと取り組んでいます。

多くの大人の見守りとマンパワーに支えられて、西中野小の子どもたちは素直に元気に育っています。ありがとうございます。

七月の生活目標

「ろうか・階段を静かに歩こう」

生活指導部

今年度より、廊下・階段の歩行時の合言葉を、より児童が安全に歩行できるようにと「あ・ゆ・み」に変えました。



学校では、毎日のように廊下・階段の歩行について指導をしています。廊下や階段を走ったり、階段を数段飛び降りたりする児童がいます。時には捻挫や打撲など、けがをする児童もいます。また、人とぶつかったりすると、大きなけがにつながることもあります。

児童にとって、よりわかりやすい合言葉をもとに指導することで、廊下や階段は⇒右側を静かに歩く⇒ことが定着することをねらっています。

保健目標

「夏を健康にすごそう」

給食目標

「夏の食生活と

健康について考えよう」